

第1号議案

# 令和2年度事業報告書

公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

## 1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

### (1) あかね荘事業

#### ① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため受入はありませんでした。

実績 : 延0人(実数0人)の方が利用

#### ② 自立訓練(生活訓練)事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ5,755人(実数32人)、宿泊での延べ利用者7,745人(実数32人)方が利用し、うち9人が地域で自立した生活を送っています。

#### ③ 相談支援事業

##### 一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方(障がい者、家族等)からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ1,252人の方が利用

### (2) あかねワークセンター事業

#### ① 就労継続支援(B型)事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ4,957人(実数25人)の方が利用

#### ② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しました。

実績 : 利用者数2,195人9団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ2,989人（実数11人）、の方が利用し、うち2人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 令和2年度相談対応件数 1,195件

精神科救急情報センター相談員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。県市から相談員研修資料を各病院に配布いたしました。

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけでなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を1床確保しました。

実績 : 令和2年度救急患者数932件（助言指導443件、外来受診258件、入院182件、その他49件）

その他事業 1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業

1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

(1) 院長会 年 5 回開催（7/16、9/17、11/19、1/21、3/18）

: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。

(2) 学術研修小委員会 学術講演会を年 4 回開催

: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。

(3) 看護部小委員会 研修会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する看護師等を対象に看護に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。

(4) 栄養部小委員会 研修会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。ただ、非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。

(5) コ・メディカル部小委員会 研修会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会は実施しませんでした。

(6) 薬剤部小委員会 研修会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。

(7) 事務長会 研修会

: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会を実施しませんでした。

(8) その他各種委員会

: 熊本県・熊本市等の開催する検討会への委員派遣、内容検討についての意見具申等を通じて当協会の精神保健医療福祉に関する考え方の実現を図りました。

2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に 4 回発行（発行部数 350 部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。

協会誌編集委員会 3 回実施（9/2、12/2、3/2）



### 3 精神障害者リハビリ事業

#### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）実施しませんでした。

#### (2) 作品展示への事業協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

・「熊本県精神保健福祉大会」、「心の健康フェスタ精神障害者作品展示」の中止により作品展示に協力は行われませんでした。

その他事業 2 : 県・市からの委託事業
----------------------

#### 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県下 5 件（内熊本市 1 件）

#### 2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域体制整備アドバイザーによる退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行なう。

実績

- ・地域体制整備アドバイザー配置事業  
熊本市関係 3 名配置
- ・新型コロナ感染防止の観点から精神障害者地域移行研修会等は実施しませんでした。

#### 3. 熊本こころのケアセンター事業

事業目的 : 熊本地震と令和 2 年 7 月豪雨による被災者の心の問題に対応するため、次の活動を行い被災地域の精神保健福祉機能を向上させ、被災者の健康的な生活の実現を図る。

##### 活動内容 (1) 被災者への相談支援等

- ・電話や来所による相談、仮設住宅入居者等への訪問支援
- ・仮設住宅における相談会等の開催
- ・健康調査の実施

##### (2) 人材育成

- ・市町村保健師、学校関係者、保育士など被災者の心のケアに携わる地域の支援者やボランティア等に対する研修の実施
- ・被災市町村の一般住民を対象とした災害時心のケア研修会の開催

(3)支援者の支援

- ・被災者の心のケアに従事する市町村職員等への技術的助言
- ・被災者の心のケアに従事する市町村職員等のメンタルヘルスケア

(4)医療と保健のネットワーク形成等

- ・関係団体との連携・協働の調整
- ・被災市町村におけるデータの収集整理、分析、検討等

(5)普及啓発

- ・一般県民、被災者、支援者向けのメンタルヘルスケアに関する情報の発信、啓発パンフレットの作成、講演会等の開催

実績

(1)被災者への相談支援

電話相談 260 件

来所相談 18 件

訪問相談 92 件

相談会等での相談 73 件

【 計 443 件 】

健康調査 1,405 人

(2)人材育成

研修会の開催 3 回 受講者 76 人

研修会への講師派遣 10 回 受講者 326 人

【 計 13 回 受講者 402 人 】

(3)支援者の支援

支援に関する相談対応 210 件

ケース会議出席 26 件

【 計 236 件 】

(4)医療と保健のネットワーク形成等

市町村等との協議 102 件

関係機関主催会議への出席 35 件

(5)普及啓発

一般向け講演会等 1 件 (Web 配信のため受講者不定)

情報発信 25 件

啓発冊子配布部数 408 部

その他事項	: 関連団体への支援事業他
-------	---------------

## 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

(1) 熊本県精神科病院協同組合

- ・「あかねクリーン」に対する営業協力等

(2) 熊本県精神保健福祉協会の事業

(3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

## 2 共催・後援

- ・精神科病院における新型コロナウイルス感染症患者の発生を見据えた対応研修会の共催（03/2/17）
- ・CADPinKUMAMOTO の後援（02/11/10）
- ・第 58 回熊本県精神保健福祉大会の後援（02/11/27）
- ・熊本県睡眠障害セミナーの後援（02/12/23）
- ・九州作業療法士会 2021in 熊本の後援（03/6/19・20）

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- (審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など
- (会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- (研修等への協力) 熊本県介護支援専門員更新研修への講師派遣
- (医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦
- (その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

## 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協 新型コロナウイルス感染症のため各会議等中止
- (2) 日精協熊本県支部 熊本県四病院合同研修会を実施（03/3/19）

## 5 その他

- (1) 会員の入会・退会について  
入会：なし  
退会：ともクリニック井形朋英
- (2) 要望等について 特になし

## 1 学術講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	統合失調症の新規病態 仮説から考える非定型 抗精神病薬の作用機序	熊本大学大学院生命科学研究 部神経精神医学講座 准教授 朴 秀賢先生	R02年9月17日
2	ドパミン過感受性精神 病に関する知見～アセ ナピンの有用性～	千葉大学大学院医学研究院精 神医学 教授 伊豫 雅臣先生	R02年11月19日
3	熊本大学病院における 気分障害・認知症・発達 障害などの臨床・研究活 動の紹介	熊本大学大学院生命科学研究 部神経精神医学講座 教授 竹林 実先生	R03年1月21日
4	ゼプリオン TRI の基本 と実際	地方独立行政法人山梨県立病 院機構山梨県立北病院 名誉院長 藤井 康男先生	R03年3月18日



# 令和2年度 事業実績

## 1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

## 2 月別利用者実績

月別	利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
		R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
月		人	人	人	人	人	人	人	人
4		60	46	8	8	26	21	94	75
5		56	46	9	7	26	20	91	73
6		58	50	9	7	27	21	94	78
7		59	46	9	9	27	22	95	77
8		59	46	8	8	27	23	94	77
9		58	44	8	9	26	24	92	77
10		57	44	8	9	25	24	90	77
11		58	40	8	9	24	23	90	72
12		60	42	8	9	25	23	93	74
1		59	40	8	9	24	24	91	73
2		54	42	8	9	23	22	85	73
3		44	40	8	9	23	22	75	71
計		682	526	99	102	303	269	1084	897
平均利用者数		57	44	8	9	25	22	90	75

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

## 3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		H30年度	R1年度	R2年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	6,793	6,957	5,755
		1日平均利用者	25.3	25.8	21.4
		利用率	63.3%	64.5%	53.5%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	9,158	9,261	7,745
		1日平均利用者	25.1	25.3	21.3
		利用率	62.8%	63.3%	52.8%
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,693	2,994	2,989
		1日平均利用者	7.4	8.2	8.2
		利用率	74.0%	82.0%	81.9%



あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	5,420	5,650	4,957
		1日平均利用者	20.2	21	18.5
		利用率	67.3%	70.0%	61.4%
合計		延べ利用者	24,064	24,862	21,446
		1日平均利用者	78	80.3	69.4
		利用率	65.0%	66.9%	57.8%

\* 利用率: 対定員数

#### 4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位:人)

	精神	知的	身体	重複	計	
あかね荘	27	4	0	1	32	重複の内訳:1(知的・精神)
ホーム	7	4	0	0	11	
ワークセンター	22	4	0	0	26	
計	56	12	0	1	69	重複の内訳:1(知的・精神)

\* 人数は実数

#### 5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

## 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	2	8	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学 尚、5月と1月の見学者が0人となっているのは新型コロナウイルス感染防止対策の一環です 前年比機関数で70%、人数で56%でした
5	0	0	
6	1	4	
7	4	8	
8	4	8	
9	2	4	
10	5	12	
11	3	7	
12	1	3	
1	0	0	
2	1	3	
3	7	23	
計	30	80	
1ヶ月平均	3	7	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

## 7 職員配置基準数(令和2年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者		2		1			1	
地域移行支援員		13						
生活支援員	1						2	
職業指導員						1		1
目標工賃達成指導員						1		
世話人				5				
事務員		1						
実人数			17				6	

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

## 8 住居について

	入所前の住居について(R2年度新規利用者)								
	自宅・アパート等 単身生活・ 結婚等の 自立生活	親・兄弟等 に扶養さ れた生活	グループ ホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
あかね荘	1	2	0	0	0	0	7	0	10
あかね ホーム	0	0	0	0	0	3	0	0	3

	退所後の住居について(R2年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等 単身生活・ 結婚等の 自立生活	親・兄弟等 に扶養さ れた生活	グループ ホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
あかね荘	0	3	6	0	0	0	2	0	11
あかね ホーム	0	0	2	0	0	0	0	0	2

## 9 日中活動について

	退所後の日中活動について(R2年度訓練終了者)								
	就労		B型事業 所	就労移行	病院デイ ケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	取の事業 者に雇用(障 害者雇用含 む)	A型事業 所							
あかね荘	0	1	3	2	0	0	2	3	11
あかね ホーム	0	1	1	0	0	0	0	0	2
あかねワー クセンター	0	1	0	0	0	0	1	0	2